

脳神経外科

【スタッフ】

平成 30 年は医師 3 名体制で変更ありませんでした。3 月までは岩城、4 月からは小柳に代わっております。

部長 中村 隆治 (2010.4～)

医長 尾中 貞夫 (2012.4～)

医師 岩城 克馬 (2017.4～2018.3)

医師 小柳 侑也 (2018.4～)

【概要】

外来日は予定手術日の木曜日以外は毎日行っております。木曜日でも可能であれば外来にも対応しております。急患にも対応しておりますのでご紹介ください。

脳神経外科での対象疾患は、脳血管障害、脳腫瘍、外傷、機能的疾患、先天奇形等幅広く多岐に涉っております。しかし、脳外科手術の手術症例は減少傾向にあり、脳血管障害の保存的治療の患者さまが増えているのが現状です。特に脳梗塞患者が増えており、初期治療として、時間が経過していなければ t-PA の投与を行っています。主幹動脈の閉塞であれば血栓回収の適応となり、予後改善に取り組んでおります。適応があれば頸動脈内膜剥離術や内頸動脈ステント留置などにも積極的に取り組んでおります。

下関市は高齢化率も高く、物忘れを主訴に受診される患者さまが増加しております。治療可能な認知症として慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症などが知られており、当科でも治療にあたっております。水頭症シャント手術後に物忘れや歩行障害が改善する患者さまがみられます。しかしアルツハイマー型認知症やレビー招待型認知症では、認知機能悪化が徐々に進行し、自宅での生活が困難になる症例が多くみられます。医師だけの努力では解決できないことも多く、ケースワーカーなど他職種と協力しての対応が必要になります。当院ではまだ認知症の対応が十分ではなく、地域社会で高齢者を支えていけるような取り組みが必要と考えております。

また、脳卒中後の痙縮に対しても、ボトックスやバクロフェンなどの使用により ADL (日常生活動作) 改善につなげたいと考えておりますのでご相談ください。

【診療実績】 2018 年(1 月～12 月)

1. 入院症例：約 358 例

2. 手術症例：60 例

内訳)

| | |
|-----|-----|
| 脳腫瘍 | 8 例 |
|-----|-----|

| | |
|------------------------|-----|
| 脳動脈瘤クリッピング（破裂4例、未破裂1例） | 5例 |
| 硬膜動静脈瘻 | 1例 |
| 血腫除去術 | 3例 |
| 急性硬膜下および外血腫 | 3例 |
| 慢性硬膜下血腫 | 18例 |
| 水頭症（脳室腹腔シャント術等） | 8例 |
| その他 | 14例 |

3. 血管内手術：16例

内訳)

| | |
|------------------------|-----|
| 脳動脈瘤コイル塞栓術（破裂4例、未破裂1例） | 5例 |
| 脳梗塞急性期 血栓回収術 | 10例 |
| 頸部内頸動脈ステント留置 | 1例 |

【業績集】

<発表>

| 開催年月日 | 演題名 | 演者 | 共同演者 | 学会名 | 場所 |
|-----------|------------------------------|------|--------------|-----------------|-------------|
| 2018.3.16 | 当院における血栓回収療法の導入と成績 | 岩城克馬 | 尾中貞夫 中村隆治 | 第43回日本脳卒中学会学術総会 | 福岡サンパレス |
| 2018.4.27 | 多様に分化し、悪性度の異なる組織を持った脳腫瘍の長期経過 | 尾中貞夫 | 小柳侑也 中村隆治 | 関門脳腫瘍カンファレンス | ホテルニュータガワ小倉 |
| 2018.9.20 | 当科のてんかん診療 | 中村隆治 | 小柳侑也 尾中貞夫 | 下関てんかんカンファレンス | 下関グランドホテル |
| 2018.11.2 | t-PA投与時の注意を要する症例 | 小柳侑也 | 中村隆治 尾中貞夫 | 第9回関門CVDカンファレンス | クラウンパレス小倉 |